

施策評価シート(令和3年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0104	政策名	観光の振興	施策主管課	観光課	課長名	藤井 淳			
政策の目指す姿	国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています									
施策No	03	施策名	移動しやすい観光地	関係課名						
施策の目指す姿	観光客がスムーズに移動しています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の旅行形態は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、従来からの団体旅行は大きく減少し、個人旅行が大幅に増加しています。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、観光客は減少しており、特に県外観光客及び訪日外国人観光客は激減しています。 ・令和3年12月18日に三陸沿岸道路(仙台～八戸)が全線開通したことにより、沿岸方面から内陸部へ周遊する新たなルートを活用した観光が見込まれます。 ・温泉、宮沢賢治、まつり等、多くの観光資源がありますが、それぞれの観光施設や資源は広範囲に点在しており、施設間を移動するための二次交通は十分とはいえない状況にあります。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人旅行で訪れる観光客がスムーズに移動できるように、観光施設等の改廃や道路改良、路線変更に対応した適切な箇所への観光案内看板の設置が必要です。 ・市内の広範囲に及ぶ観光施設を巡る周遊バスについて、魅力的なコース設定と適切な料金体系の検討が必要です。 ・主要交通拠点(いわて花巻空港や新花巻駅)と観光施設等を結ぶ二次交通の検討が必要です。 ・当市は大型宿泊施設が多く団体客は貴重であるため、教育旅行を含めた団体客を的確に取り込む必要があります。 ・三陸沿岸道路(仙台～八戸)が全線開通したことによる、沿岸部から内陸方面へ観光する際の周遊ルート造成や市内宿泊利用を結びつける取り組みが必要です。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に市観光課が管理する観光案内板の全調査を行い、令和4年度以降に実施する維持管理の計画を策定する。 ・どんぐり・やまねこ号については複数回当市を訪れる観光客が再度利用してもらえるような魅力的なコース設定を随時行う。 ・二次交通確保のためのバス事業の利用促進ため利用者が安心して利用してもらえるよう、業界団体が示す感染予防対策ガイドラインに沿った対策を徹底し、対策実施の周知も併せて行い、安全、安心に利用出来るような環境整備に努める。 ・令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、隣県、県内等近場での教育旅行需要が新たに生じ、一定程度の団体旅行貸切バスツアーの利用実績があったことから、効果的な事業実施となるよう、随時事業の見直しを行う。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の市観光課所管の観光案内看板の全調査を実施し、観光案内板等台帳管理システムへの入力完了、令和4年度に一部修繕が必要と判断された道路標識の修繕予算を確保した。 ・協会内で議論を重ね、どんぐり・やまねこ号のコース設定を見直し、わんこそば昼食付のコースの追加やガイド付きの特別コースの設定等の取り組みを令和4年度実施することとした。 ・観光循環バス等(温泉郷宿泊施設等無料送迎バス、主要観光施設周遊バス「どんぐり・やまねこ号」)において、手指消毒の徹底、運行後の車内消毒、乗車人数制限等の感染症対策を実施し、安全・安心な車内環境で運行した。 ・団体旅行貸切バスツアーの実績は、国内の教育旅行を中心に利用が多くなった。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 観光案内表示の充実 観光客にわかりやすい観光案内板の設置と維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市観光課所管の全観光案内板を調査、新たな観光案内板等台帳管理システムを立ち上げ入力完了 <p>(2) 観光施設間の移動手段の確保 駅から温泉、観光施設間の二次交通の運行支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花巻温泉郷が共同運行する新花巻駅から温泉施設等への無料送迎バス運行事業への支援 利用者ニーズに対応した魅力的な二次交通の運行支援 ・どんぐり・やまねこ号の通常コース運行のほか、利用者のアンケート調査を反映したガイド付き特別コースの運行を支援 団体貸切バスツアーの運行支援 ・市内宿泊施設に1泊するツアー造成した場合、バス経費に対して支援し、国内ツアー造成を促進する事業を実施 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H30	H31	R02	R03	R04	R05
案内板表示に満足した観光客の割合	観光施設等目的地に迷うことなく到着することができたか、観光客ニーズとともに調査測定することとしたもの。	花巻市観光客満足度アンケートにある「案内板表示に満足できたか」という設問により把握する。	%	目標値	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00	90.00
				実績値	87.00	84.00	87.00	91.00		
観光環状バス等の利用者数	二次交通となる宿泊施設と駅等を結ぶ送迎バスと主要観光施設を巡る周遊観光バスがどの程度利用されているかを示す指標として設定する。	事業主体からの実績報告 ・温泉郷宿泊施設等送迎バス ・主要観光施設周遊バス	万人	目標値	5.90	5.90	5.60	5.60	5.60	5.60
				実績値	5.50	5.47	2.33	1.66		
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>成果指標「案内板表示に満足した観光客の割合」・・・【達成度 a】 市観光課が所管する道路標識の修繕等を長期計画により継続的に実施してきたこと、スマートフォンの普及で観光客自身が経路を調べやすくなってきたことの相乗効果で満足度が高くなったと推察される。</p> <p>成果指標「観光環状バス等の利用者数」・・・【達成度 c】 市が支援し実施している観光環状バス等については、新幹線が発着する新花巻駅での乗降となっているが、8、9月の県独自の緊急事態宣言や国による緊急事態宣言、まん延防止措置の適用等の影響で県外客の往来が鈍った影響が当該バス利用者減として現れたと考えられる。</p> <p>「観光環状バス等」・・・ 温泉郷宿泊施設等送迎バス(宿泊施設と駅等を結ぶ無料送迎バス)、 主要観光施設送迎バス(どんぐり・やまねこ号)</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
・なし
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<ul style="list-style-type: none"> ・（観光ルート整備事業費）どんぐり・やまねこ号の利用者アンケートを参考として、需要に応じた新たなコース設定を行うことで、新たな需要を生み出す必要がある。 ・（観光案内板整備事業）市観光課所管標識のシステム化が完了したが、今後は設置年等に応じた計画的な修繕が必要となる。
新たに取り組むべき事業はないか
・なし

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・県外からの玄関口である新花巻駅から花巻温泉郷や観光施設が離れており、その往來の方法を確保する2次交通の充実が長年の課題となっており、利用したいと思われるコース開発も課題である。 ・危険と思われる道路標識は令和4年度で修繕するが、観光施設周辺の小型の観光案内板の老朽化が進んでおり、修繕が必要である。
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり・やまねこ号の利用者アンケートを参考として、事業主体である観光協会内での検討を進め、魅力的なコース作りを行い、利用増に繋げる。 ・老朽化が進んでいる観光施設周辺の小型の観光案内板の修繕を計画的に実施していく。

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
			対象	意図	成果
	事業内容(活動実績)		直結度		
010	観光ルート整備事業費	観光	一致	直結	C
	花巻温泉郷共同送迎バス運行支援(利用者数 16,163人)、市内観光施設周遊バス運行支援(運行日数 135日、利用者数 404人)、団体旅行貸切バスツアー運行支援(支援台数 297台、利用者数 8,115人) 20,440千円		A		
020	観光案内板整備事業費	観光	一致	直結	B
	観光案内板現地調査及び台帳整備 4,808千円 (250か所現地調査、247か所システム登録)		A		